

この学校にわたしたち

2023. 2. 22

N064

一粒万倍

2月も後半に入ってきました。日差しに春の気配を感じるようになってきました。手紙の冒頭に使用する言葉も“余寒”“春寒”という“寒”のつく言葉から“残雪”“雨水”と雪が水に変わる時期という言葉に変わりつつある時期となってきました。もうすぐ3月。

来年度の花や野菜の種を蒔く時期となってきました。

「一粒万倍」という言葉がありますが、粃は一粒からたくさんのお米がとれるところからそう言われます。米だけでなく、どの植物も子孫を残すために一生懸命生きています。

ある朝、子どもが校長室に入ってきて「僕さあ、〇〇するの初めてなんさあ。したことがないでどうしたらよいか分からず緊張するんさなあ」と話してくれました。初めての経験を前に緊張する様子がよく伝わってきました。私は、「大丈夫だよ」と簡単に伝えず、その子の緊張する思いを受け止めるだけに留めました。しばらくするとその子は元気に「教室に戻るわ」と言って去っていきました。校長室でいろいろな子と何気ない話ができることは校長として何より楽しい時間です。子どもたちはどの子もよくなりたく、成長したいと思って毎日過ごしています。毎時間、毎時間の勉強も一生懸命頑張っています。子どもたちは“未来”という畑に自分の“挑戦”という種を毎日蒔いています。それは将来、必ず実をつけてくれることなのでしょう。私たち大人は子どもたちに対して、「有難う」「すごいね」「よく頑張っているね」「結果を気にしなくていいよ」「あなたなら大丈夫」など一粒一粒の励ましの種を蒔くことがきっと一粒万倍となっていくことと思います。



卒業式におけるマスクの取り扱いについて



2月15日に津市より卒業式におけるマスクの取り扱いについての通知と文書がとどきましたので16日に文書を配布させていただきました。それに伴い、現時点におきましては入退場時、卒業証書授与においてはマスクを着用せず、合唱・呼びかけの時にはマスクを着用するなどこれまで通りとします。また、参加していただく保護者の方につきましてはマスクを着用して参加となっておりますので宜しくお願いします。

なお、様々な理由があり、マスクを希望したり、健康上の理由によりマスクが着用できない児童もいることをご理解いただき、マスクの有無によるうわさ話をするなど差別・偏見等がないよう、ご家庭におきましてもお子様にご指導いただきますよう、お願いします。